

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例4

< 事例概要 >

- ・ 70歳代、肝細胞癌の患者。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、ヨード造影剤（イオメロン）。CT検査室で発症。
- ・ 過去にヨード造影剤（オムニパーク）を使用し、軽度のアレルギー症状の出現有。
- ・ 造影剤注入から8分後、咳嗽と顔面紅潮が出現。初発症状を認めた直後、JCSⅢ-200～300となり、緊急コール。1分後、呼吸停止、頸動脈触知不能となり、心肺蘇生を開始。3分後、アドレナリン1mgを静脈内注射。救急処置を実施するが、約1か月後に死亡。